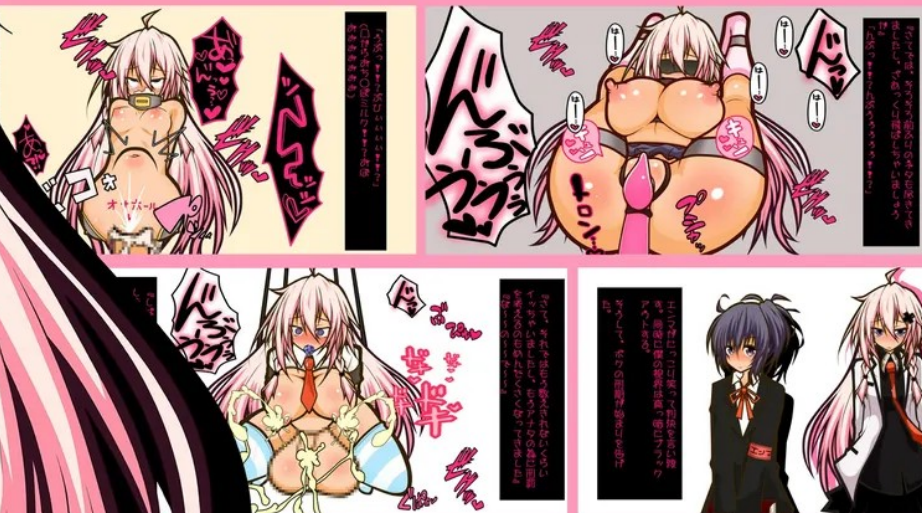




オタク男子は地獄で『女体化』されて、
エロゲヒロイン達にしてきた
『変態プレイ』をされちゃいます



基本CG 8枚
ストーリー 67枚



ア

ハ

女体化

「何十年……♡♡♡？そんなにや……ほひい♡♡♡？
きっ、キ〇タママァ……キ〇タママァ〇戻ミルク
で……んひい♡♡♡」



「やっやら……♡♡♡？おす〇戻ミルク出っ戻にやこ
なんていやあ……♡♡♡？やらあ……イキたくにやい
……イキたくにや……」

『ほらほらさっさと起きてくださいな。いつまで寝てるんですか？』
「あっあれ……僕はまた……えっ♡♡♡ちゅっ……なにこれ♡？」



やたら面積の少ない水着を着せられ、僕の両腕は拘束されていた。

エロゲーをしていたかと思うと、いきなり目の前が真っ暗になり……
気が付くと僕は、どこか裁判所のような場所に立たされていた。
そしてそんな僕を一人の女の子がニマニマとした笑顔を浮かべながら覗き込んでくる。



「おはようございませう。お目覚めはどうかあ？地獄に落ちちゃった時点で最悪のお目覚めでしょうが……」
「まあ、お決まりの挨拶って言うのは大事ですよわ？ああ、私はエニマと言うのです。お見知りおきを〜」

『じっ、地獄……♡♡♡?』
いきなり何を言うんだ!?! ポクは自慢
じゃないけど、犯罪行為が出来る勇氣な
んて無い、エロゲーオタクだぞ!?!?



それすら、表に出せずにコソコソとし
か、オタクライフを送れていないって
うのに……♡? ?
……あれ、なんか声高い?

「ふむふむ？女性の監禁542件、強姦および強姦未遂125件、催眠による女性の意思に反した行為の強要3の1件……」

「うわー、まだまだ出てきますねえ？正直、私もひいちゃいますよ？？」

『ななな、そんなことボクは……♡？』

「ん？ああ、あれですか？現実じゃなきやセーフ！？！が思ってた感じですかあ？」



「最近ですわねえ、それもそういう願望を抱く事ですが、犯罪の根元だという話になりました」

「その原因はエロゲーとか、エロマンガとかだっけ話に飛躍したんですよ。まったくお偉いさんは発想が豊かですよわえ」

『え……あ……』
「なのでまあ、エロゲのキャラクターにも簡易的な人権が与ったのが認められまして、そのキャラクターに対する犯罪行為もカウントする運びになったんですよ」



「あなたには、これからその、女の子の身体で、貴方がしてきた以上の事を味わってもらいますから」
「そう言うてエロゲは鏡をポコッと目の前に置く。」



「あなた、連休だからって、エロゲをろくに睡眠も食事もせずじやりつつうけて死んじやったみたいですし……まあ、お似合いの末路ですよわ？」



そこに映っていたのは、いつもの僕の姿ではなく、エロゲのヒロインをそのまま現実に持ってきたかの様な姿だった。
『これ、ボク……♡？え……うん……♡？』

「なに、たった一万年くらいの刑期ですよ」
『ひっ……やっやだ……やあし……(→)
めんなさいごめんなさいごめんなさい♡♡♡』



「まーこんな事しても、犯罪の数が減るわけ、ぜえんげん思ってませんからせつかくですの、テストケースのモルモット……楽しんでってくださいね？」

「だーめーです。それでは貴女には有罪、変態プレイ一万年の判決を言い渡しま〜す。頑張ってくださいね〜」



エンマがにっこり笑って判決を言い渡す。同時に僕の視界は真っ暗にブラックアウトする。

そうして、ボクの刑期が始まりを告げた。

『ほらほらさっさと起きてくださいな。いつまで寝てるんですか？』
「あっあれ……僕はまた……えっ……ちまっ……なにこれ……」



やたら面積の少ない水着を着せられ、僕の両腕は拘束されていた。

『あーてりあえず、最初の刑罰はですわー？悩める青少年にはやはりマスターベーション……めんどくさいですわ。オナニーって必要じゃないですか？』



『ただ、その為にもオカズが必要ですよわー？そのオカズの中でもかなりの割合を締めてた二次元を規制しちゃうわけですから』
『それに変わるオカズを用意しないといけないと思っましてっ』
『変わる……オカズって……それって……』

『パソコンやスマホから簡単に操作できるオカズアプリ『女体化男子』・画面の中にいる女体化した男の子をエッチな責めでアへらせて、自分好みのエロシーンをつくれちゃうアプリです』



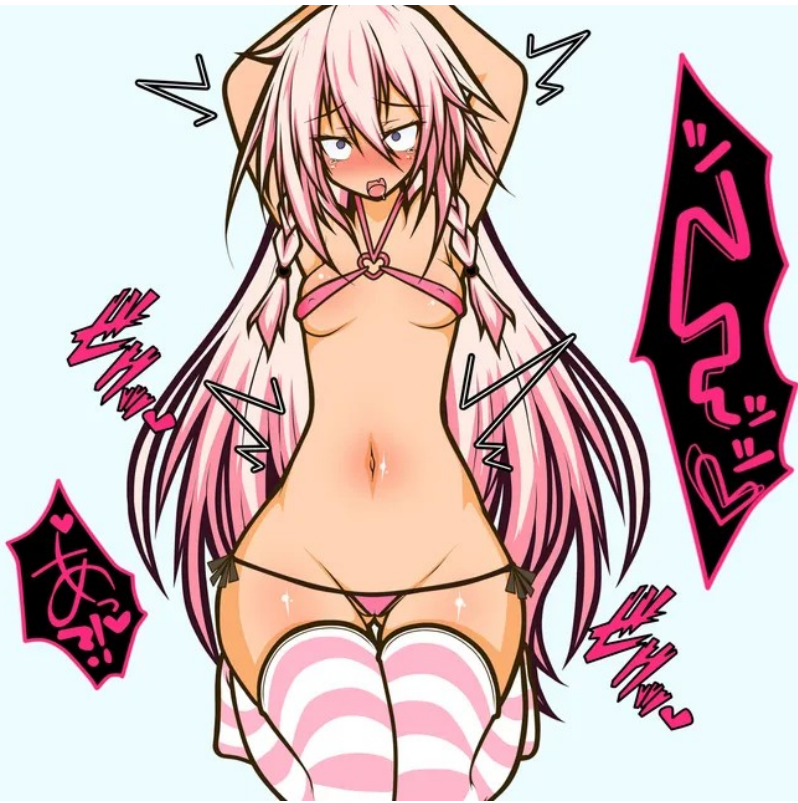
『健全な男子はオナニーのオカズを得られる上、自分も気を付けないとこうされてしまうという教訓になるわけですねー』

『ああ、安心してくださいね？ちやあんで、貴方たち変態さんにもまんずいくよう、あらゆる変態プレイも可能でよし、快楽で気が狂うことも無くしてあげてますから』
「やっやだ……やだよんなの……♡ゅっゅるして☆」

『そう言ったエロゲヒロインを貴方は許してあげましたがあ？さあ、まずはリクエストもありましたし、テストプレイという事で私が……』
『そうやってエンマはスマホをこりだし、小器用に操作していく。』

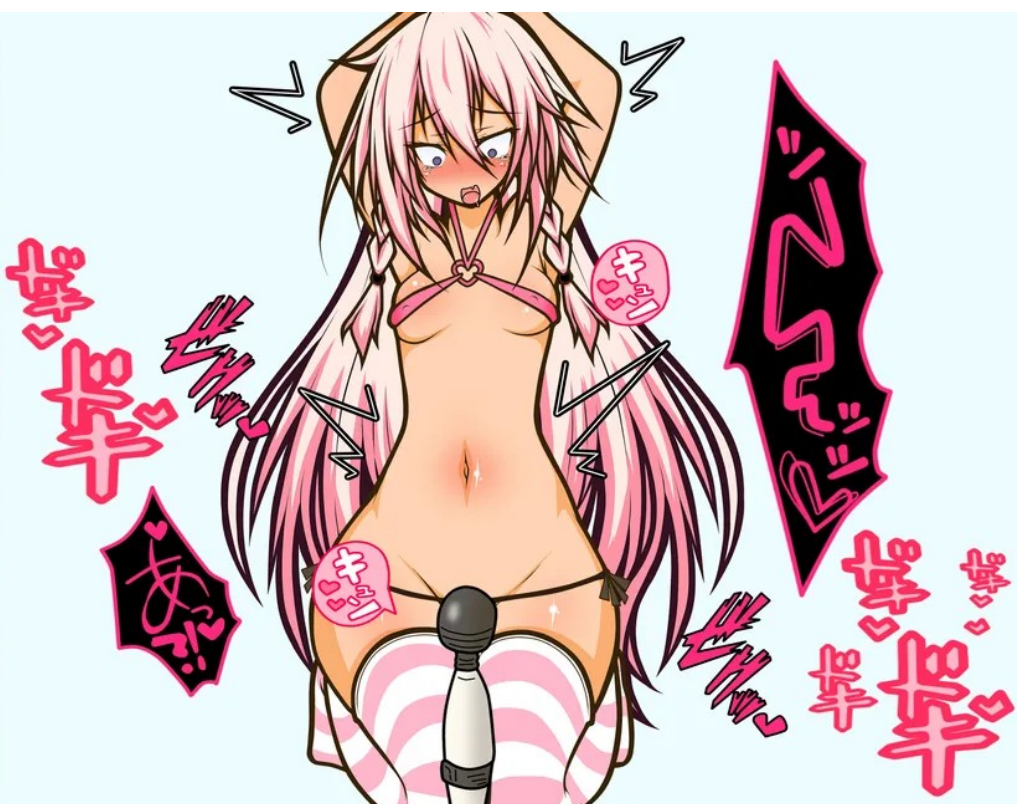


『大丈夫、優しくしてあげますから。まずは
……身体の性感体を全身にして……、感度も
マックスにしちやいまして……』
「ほっ！？！？ほっ！？！？ほっ！？！？」



「にやっ……にやにこりえ……体があちゅ……
おひいひい♥♥♥？」
『ふふふ、はじめて味わう女の子の気持ちよな
はどうですかあ？もうメスみたいな顔しちやっ
てますよ……？はやいでよねえ』

「ほ……ほくは……男……ほひいいい」
『デンプしおつ♥♥でか言っておいてあげま
しょう。さてでは、この子ハママをみっばいこオ
マ〇〇で固定してっで……』
「たひいいいい♥♥♥」



『あらら、まだスイッチもいれてないのに、
エッチな声あげちゃってら。もうスタート押
しちゃったら、速効でメス堕ちしちやいそいで
すねえ？嬉しいですか？』

「ちっちらちっちら……女の子になたてならたくな
……まっ……こわいぬ」



『ダメです。ナカカウハトタマコハナオオオ
〜〜〜の〜〜〜』
「ひっ、いやだ! いやだいやだいやだ!」



『ガッガッガッ』
『キッ!』

「これにやの酷いよみあ〜る酷いけど、感じりや
のみあ〜るおま〇こエッチな汁吹き出しながりや
いぐらうらう、おま〇こデニママでおこなナナレ
りやうらう」
「ボク男なのに、デニママなんかには屈服させられ
りやうのほあまあ」



『あはは、機能は問題無いみたいですね。それ
じゃ、その調子で皆のオナペット頑張ってくださいな
いねー？』

1の年後

『さて、そろそろですかあ〜？うわ、ひでい有り様ですねえ……まっ、こりあえず精神の健康状態を回復させて……それから……』

『さあ、お目覚めでかあ？そろそろ次の刑のみ時間ですよ〜？』

「あっ……あれ……終わったの……え……動けない……？」

『あはは、そりやそうですよ〜 【備品】が勝手に動いたら大変じゃないですかあ？』

『貴方は看守の性欲解消用オナホールなんでか〜ら〜？』

『もろちろろろん、貴方の生きてた時のみち○ぼみたいに、ちいっちやくて可愛いみち○ぼは訳が違いまゝから、どうせ足なんが生えてても腰が抜けてうごけないでしようけで』



『サービスでおま○この感度も最強に調整してみてあげましたから頑張ってくださいわ〜？ あっ最初の使用希望者がきましたよ』

「そ………そんないや………たしゅけ………」
漫画にでてきそうな大鬼が僕の身体を掴みあげる
……その股間には僕の身体程もあるみち○ぽか
……



『ああ、鬼田さん、その子初物ですのてまだ馴染
んでませんから、キツキツ具合楽しんでください
わっ…あっ、私を見ていいんですかっ…？好き
ですよわっ…』

「ひっ♡♡？ちよっ、ちよってまって♡♡そっそ
んにゃの無理♡♡死んじやう♡♡死んじやうが
ら♡♡」
『大丈夫であって、オナホールとしてちやあんと
使えるように体は伸び縮みできるようになってま
すからあゝ』



『たまあぬに、私もそれやるんであけで、気持ち
いいですよ？自分が単なる物として扱われる
屈辱はいいですかあゝ？じや、いってらっ
しやああい』

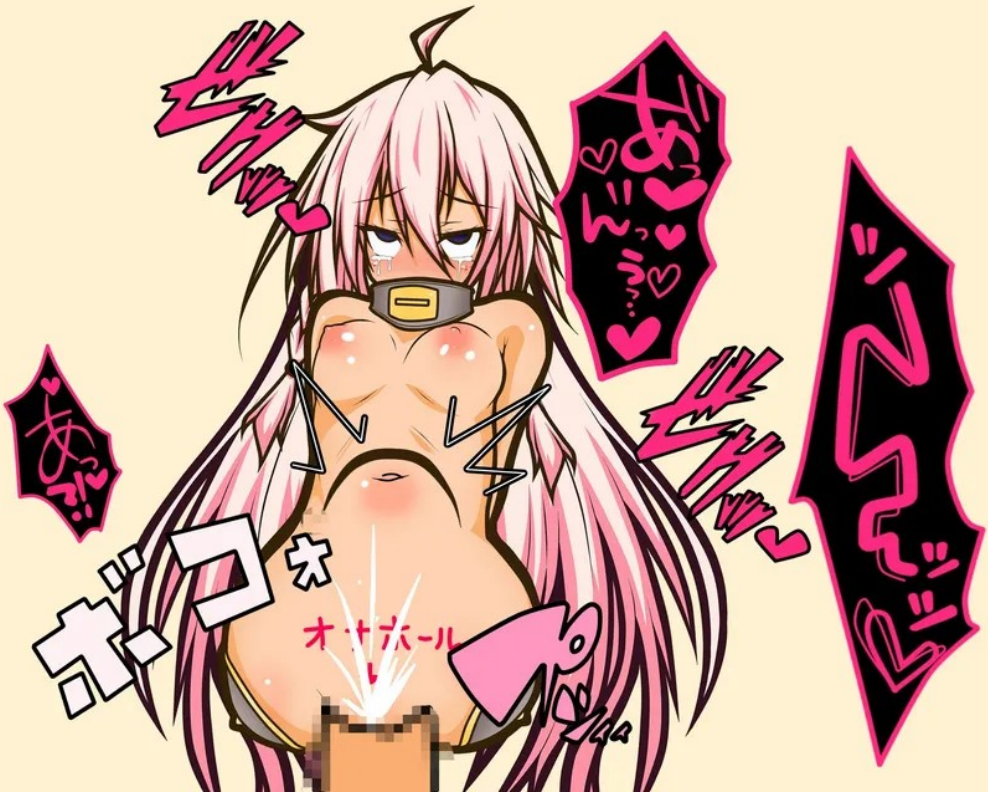


ズプッウウウッ!!!

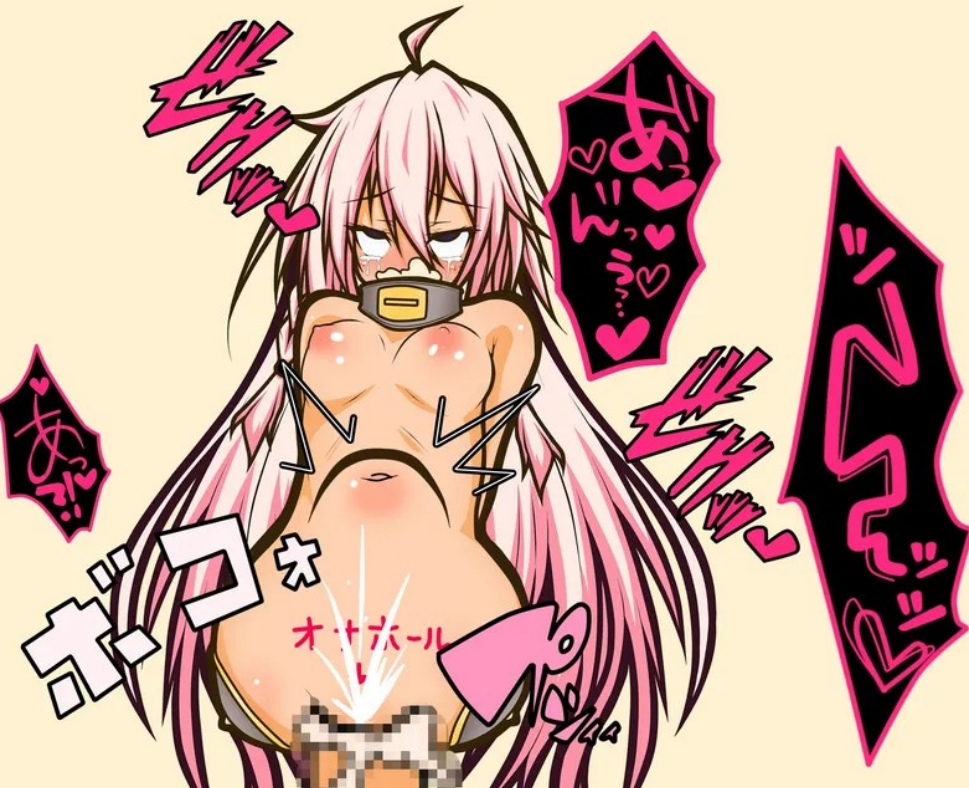
「んおおおおおおおっ!!!? おっ、おち○ぽ
……っ!!!? むぐぐううう!!!?」

『あはは、見事にお腹がほこおっってなってますね
っ? 全身おま○こボディをそのおち○ぽ味わう
快樂はそこいでしょう?』

「おひっ♡♡おひいいい♡♡狂う……♡♡
これにやのくりゆう♡♡にほおみみ」
「あひっあひいいい♡♡無理いい……無理にやの
にいいい……オナホおま○こで、おち○ぽここ
こすりゃだけの道具にされてりゆううう」



「おはは、そうであみ……貴方はもう物なんで
すみ……ほらほら来ますみ……せせ
い……」
「そ……そ……そ……そ……そ……そ……そ……そ……」

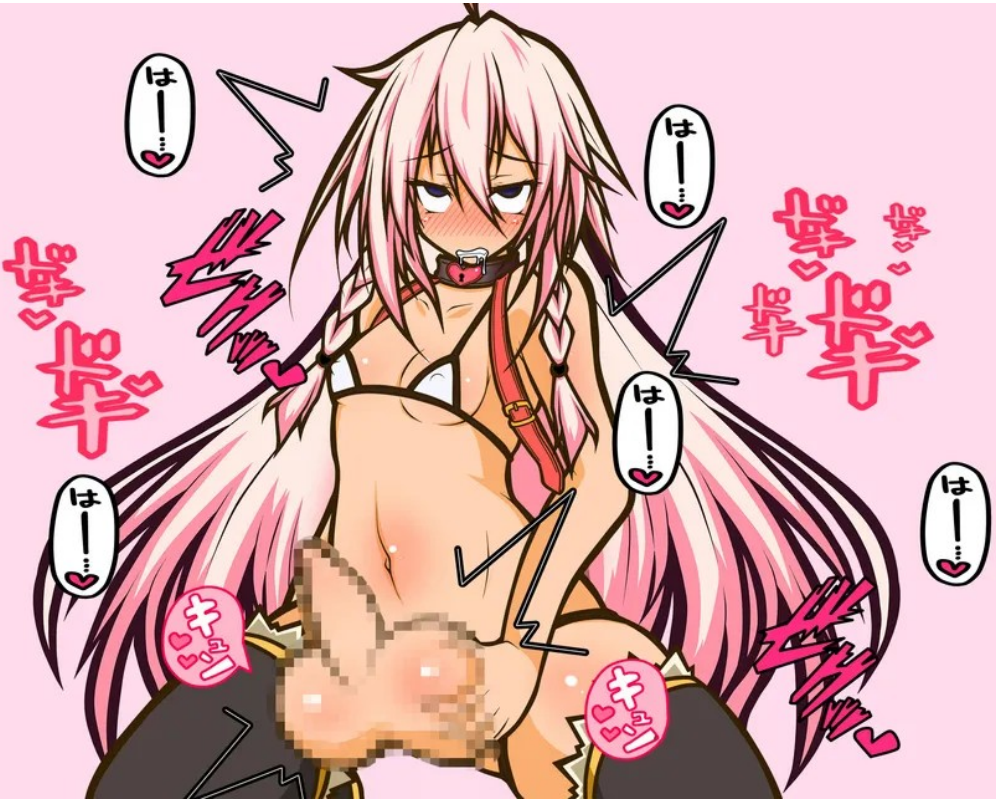


「ぶひっ♡♡♡ぶひいいい♡♡♡」
「口からオナホールニク♡♡♡オナホ
オオオオオオオオ」

「あはは、中々の名器に仕上がってるみたいですよ
わっ？？まっ？その調子で性欲処理頑張ってくださいな
いね？？」
「ぶひっ……ぶひいい」
「(…)……(…)おやの……いぢあああ」

『さてさて、それでは次の刑罰のお時間ですよ
おあって……うわああ酷いことになっちゃってま
すわ〜』
『まっ、気絶してるようですよ、そのまま次に
いっちゃいましてよろかし〜』

「こっこれって……」
『あはは、もちろん次はそのおち○ぼに罰を与えてあげます。もう二度で射精したいなんて思わないくらい、おち○ぼミルクをぶびゅぶびゅさせてあげますね?』



「びっ♡♡まっ♡まっ♡まっ♡……おひい♡♡♡♡にやっ♡にやっ♡にこりえ……♡♡マキ○タマが……おほおほ♡♡♡?」

『あーそのキ○タマは特別製で、普通の何万倍ものペースでおち○ぼミルクを作れるようになってるんですよー』



『おっおっおっ、はやくおち○ぼミルクがぶちまけられないで、キ○タマ破裂しちゃいますよー？まっ、一度射精したら何十年は止まらなくなっちゃうと思いますか？』

「何十年……♡♡♡？そんなにや……ほひい♡♡？
きっ、キ〇タママァ……キ〇タママァ〇戻ミルク
で……んひい♡♡」



「やっやら……♡♡♡おす〇戻ミルク出っ戻にやこ
なんていやあ……♡♡♡やらあ……イヤたくにやい
……イヤたくにや……」

「おひはおおおおおおお？…？…でっでっ
 ころっ？！おち○ぽミルクぶびゅぶびゅをちやって
 りゅちゅちゅ」

おおあ♡

お～♡
 お～♡

あー♡

ははははは
 ああ

アッ！アッ！アッ！

お～♡
 お～♡

おおあ♡

「どっどまりにや…♡…♡…？
 あっはおおおおおお」

「おー見事に射精しちゃいましたわー。大丈夫です、そのおち〇ぼミルクは美肌用のクリームとして再利用する予定であからう存分に出してくれていいですよ〜?」



「そっそんなに心配してにや……にょほおあおあ! だめえええおち〇ぼ射精してゆのに、追加のおち〇ぼミルクでんごん出来ちゃってりゅうろ」

「おち○ほイクのこまんにやひいいいゝゝゝ!!
パカになりゅうおち○ほミルク出しすぎてバカにな
りゅう」

おちほ



『おはは、いいなすめゝゝゝ貴方はもうおち○
ほミルク製造機なんですかあゝゝゝ好きなだけ
いっちやって下さいね』
『ほらほらおち○ほミルクがたあっぶり詰まった
メスキ○タマ、もゝみもゝみしてあげますか
らゝゝ』

「頑張り頑張り〜」
「おひいひい〜!?!?!?キ〇タマアア、キ〇タマモ
みもみだめええええええ!?!?!いぐっキ〇タマ優しく
もみもみされていくろう!?!?!」



「おほおおおおおおおお!?!?!」



『やてまは、そろそろ前みのネタも尽きてま
ましたし、ヤあっくり飛ばしちゃいませう
ナ』
「ごん♡♡♡ごん♡♡♡ごん♡♡♡ごん♡♡♡」

『あはは、いい眺めですわ〜？どうですか？
体は完全に拘束されて、視界も言葉も奪われて
部品にされちゃう気分は？』
『まあ、貴方にはこれから女の子の感じも快楽
をエネルギーに代える、アクメ発電機のパーツ
になってもらいます〜』



『え？どういった理屈かって？あれじゃないで
すかね？エロ漫画的で都合展開』
『まっ、原理はどうあれ発電できるなら大差は
ありませんよ〜貴方の身体も特別に改造して
あげたんですから、感謝してくださいね
〜？』

『固定されたパイプは子宮まで完全に貫通して、直接快楽を叩き込むインパルス式』
『乳首はみち〇ぼミルクを射精できる様にキ〇タマ内蔵式にして、脳ミソに直接快楽を叩き込む洗脳ヘッドフォンも完備』



『ぜひんぶ、貴方の為に掲げた最新式ばかりです。感謝してくださいね〜』



「まっまって♡♡♡いぢっ置いてかないで
.....」
『はー...♡』



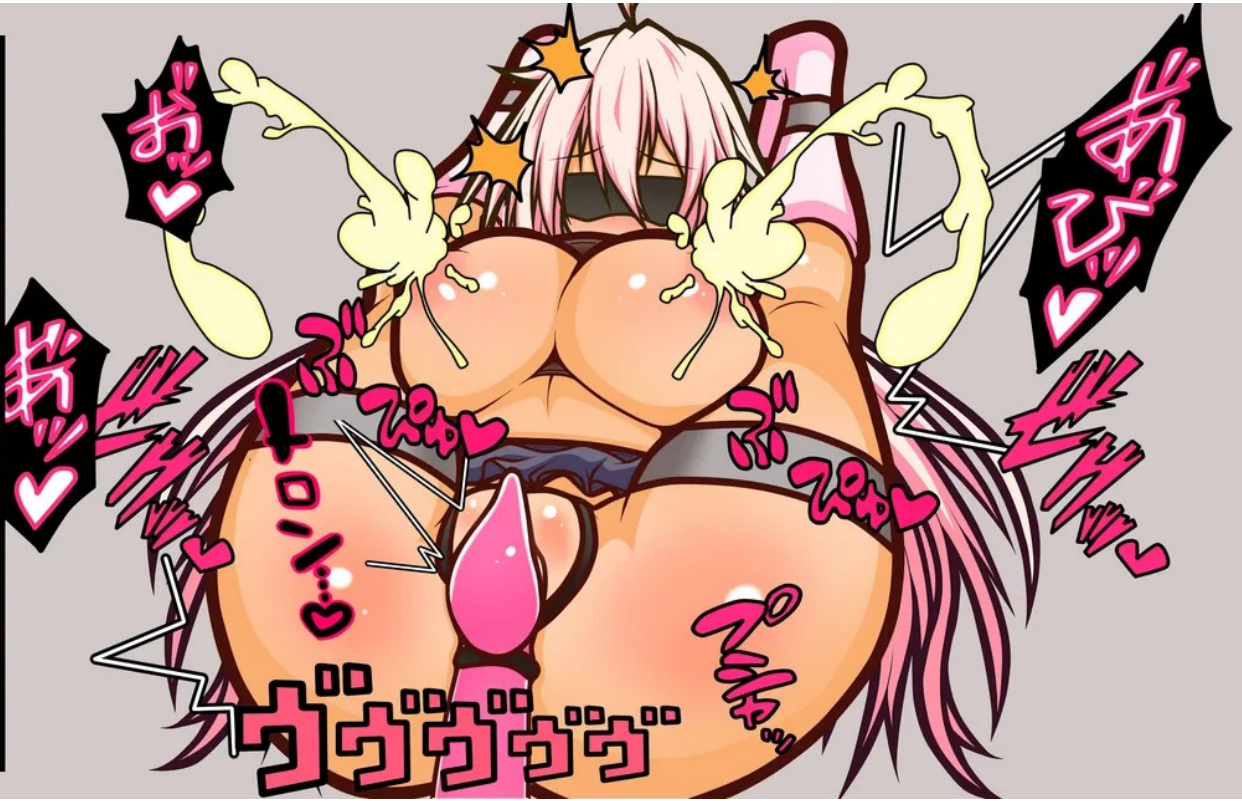
「おはようございます」

(おま○こも乳首も全部いってりゅうちゅ♡♡♡
乳首いい乳首おち○ぽミルク出て……ほ
ひいいい)



(おほおおおおおおおお♡♡♡♡♡
たぬぬぬ♡♡♡♡♡気持ちいいのきすちゅっ
たぬぬぬ♡♡♡♡♡ほっ、ほおおおおおおおお)

「まだまだやい♡♡イケのたまらなげ……ん
ひいいい♡♡♡気持ちよくなりもちゅう全身気持ちす
まくなっすちゅう♡♡♡♡♡」



「全部いくらう♡♡♡♡♡オコもケツも○
右、乳首が○露せ、ナ○タマもっはいも全部い
くらよおあ♡♡♡♡♡」
「あっほおあおあおああ」

『さてさて次の刑罰でめがめがよかったですか
ねえ？まだ今回は比較的マイルドですよ？』
「ぜ……全然信用できない……♥」
『あはは、シヨックでめめめ泣けてきちゃい
ますよめめええん。まあ、それはさておき
……まずは……』

「わっっ……♡♡♡♡♡」
「……………」



『あははどうですらら？スクール水着に擬装させた触手服ですよらら？全身を舐め回されるように気持ちいいでしょう？』
「こっこんなの気持ちわる……んひい♡♡？なっゆに……なかにいい♡♡」

『ああ、その触手は貴女の愛液が着分ちな
まあるで、触手の寿命がくるまで逃がしてはく
れませんが、まっ百年はそのままエッチな
お汁製造器として生きてってください』



『あついでにおっぱいも、キ○タマ汁が射精
できる用においたままですのさささっち
も頑張っでビュルビュルしてくださいね』
『まあ、もちろん。それだけじゃ甘いのでさ
このまま天国に貸し出して、ベットとして惨め
に生きてもらいましょから』

『よかったですわ〜そのエッチな姿、皆にみてもらえますよ〜?』
「やっやら……!?!?!やらぬぞんにやの……おひはおおおおお!?!?!」



『あはは、期待しておま○こびちよびちよに濡らしちゃったんですがあ?その触手はおま○こ汁が栄養なんでから、濡れたら濡れただけ元気になっちやいますよ〜?』

『もう、男の子の尊厳なんかなくなっちゃいま
したわ〜』

「ほっほくは……おここ……んほおおおおお」



『だらしない顔して、そんなに気持ちいいんで
おっぱい？まっ、せいせい楽しんできてください
わ〜』

「いやっ、いやあああ〜！んおおおおおお」

『さてさてなんやかんやで……アナタの刑期もこの666年になっちゃいましたねー？いやぁ早いものですよ』

「そ……そんな……まだそんなにも……♡♡？」
『はい……まあ、テストケースですし、色々ためしてみたいじゃないですか？』

『まあ勿論、ちやあんと反省して……貴方がおち○ぼの欲求に耐えられるようなら、もっと早くに出してあげてもいいんですけど……？』

『どうですか？やってみます……？』
「やっやる♡♡もちろん♡♡もうおち○ぼもおま○こも気持ちいいの辛いから……♡♡！」

『あら……いいんですけど？仕方ありませんね』

「おひよ……♡♡♡？ほっ♡？ほお
おおおおおおおおおおおおおお♡♡♡？」
「おっ、おち○ぽが……キ○タマ……♡♡♡？ほ
ひいひいひい♡♡♡？にやっにやにこれええ♡♡♡？」



『メスち○ぽでメスキ○タマじゃないです
かああ？貴方が刑期の短縮をお願いしちゃったわ
けですから』

『この10年の年の性欲をこの先一年に圧縮してあげましたあ〜まっ単純に10年ののの倍の性欲ですし、こうなっちゃいますよねえ』



「このっめ……っめっめっめっめっめ……破裂す
りゅうろ……メスキオタマ……おち○尻ミルケで
破裂すりゅうろ。おま○も熱くて……ぶ
るらうろ」

『ダメですよ。あなたはそのまま、おち○ぼもキ○タマもおま○こも我慢して一年すごすんですからあ？』

『あつち、いったらそのままの状態に刑期の延長ですか？一回10年。まっ最初の1万年に比べたら随分良心的ですか？』



はー...♡

はー...♡

はー...♡

はー...♡

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

『まあ、それもさうさ、もし我慢できなかつたら、私が直々に足○キくらいいしてあげますよ。』
『ほらほら、どうですか？ムシムシ足ま○こですか？』
『おみかずにあっぱい、はい、はいは見せてあげますから。』

『私って結構着痩せするんであけでゆ々のものでしょう』
「はああ……はああ……ムシムシ足ま〇……」
（だめ、ここで我慢しなかつたら全部水の泡だ……ホクは……ホクは……）



「むりいい♥♥我慢なんてできないら〜♥♥してええ〜♥♥足ま〇こで、情けないおま〇こシ」
「シ〇こしてくださいい」
『あぢぢ〜いいんですけどあ〜そんなタプタプキ〇タマ、一回いっっちゃったり、もう止まりませんみ〜ん』



「いいえしゅう〜♥♥もうおま〇こもおち〇ぼもキ〇タマも、全部気持ちいいからやああ♥♥気持ちいいことしてええ♥♥」

『あらあらいいんであかあ？そんなタブタブキ
〇タマ、一回いっちゃったら、もう止まりません
ゆらゆら』
「いいでしゅうう、もうみま〇もみち〇ほも
キ〇タマも、全部気持ちいいかりやああ、気持ち
持たいいことしてええ、」



はー…♡

はー…♡

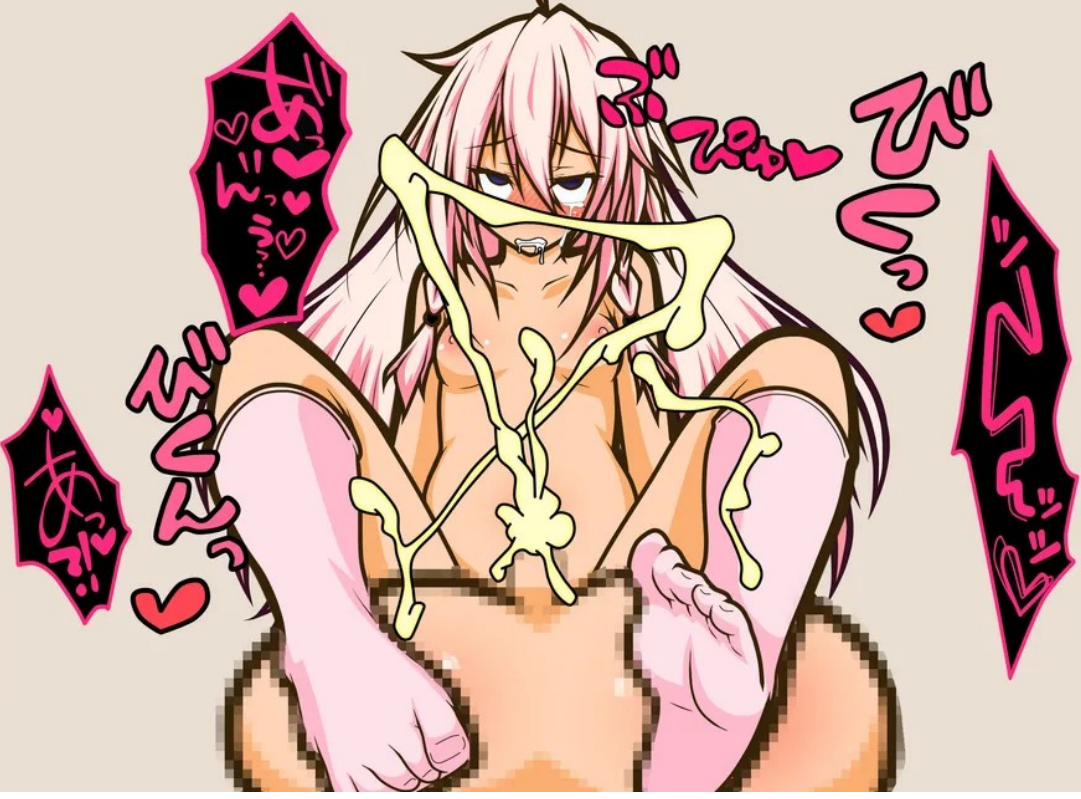
はー…♡

はー…♡

ドキドキ

『あはは、これじゃ刑罰でございじゃないであわ
ゆるしかなありません。ほら、たあんこ味わっ
てくださいわらって』

「おひいひい！？おち○ほおお！？おち○ほい
くうろう！？もう取り返しをつけない事しながら
いっちやうにはほおおおお」
『あはは、おま○こが寂しうですわさるパイプ
もちやあんていれてあげますから』
すぶっ



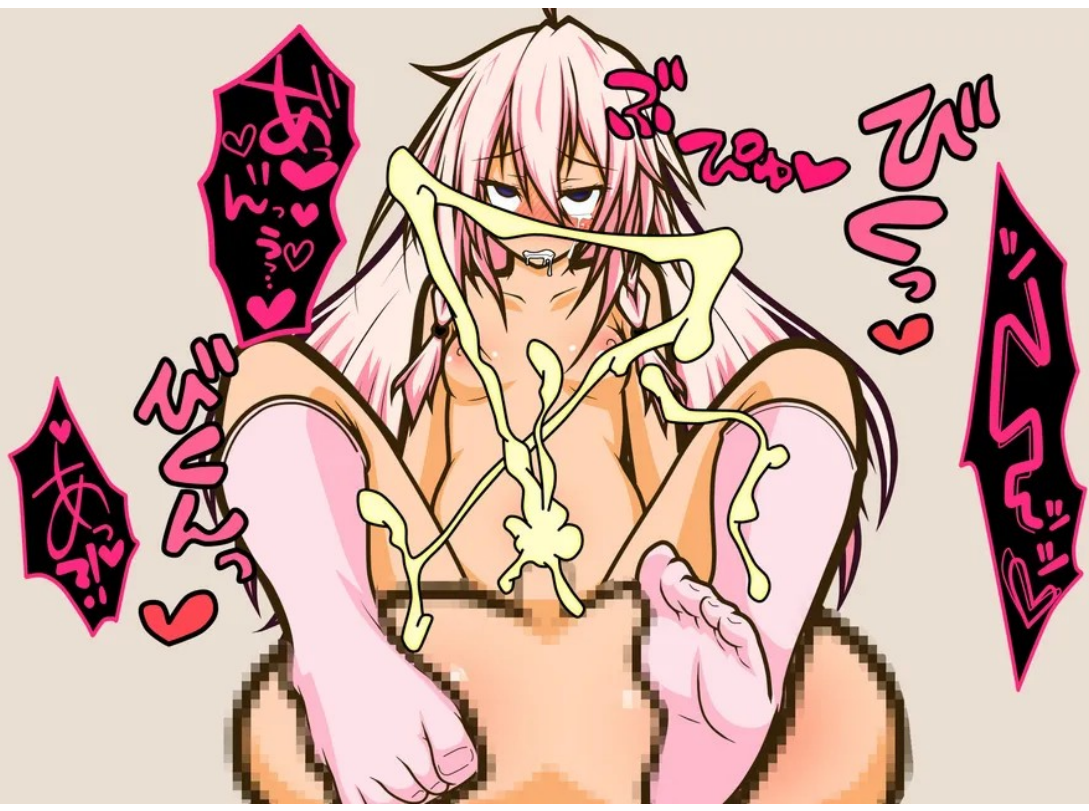
「ほひいひい！？おま○こ……おま○こキ
たああ！？おま○こもいってりものおあさる！？」
「パイプ様に屈服アクメすりゆう！？男なの
に、パイプに服従しちやうろう！？ん
ほおおおおお」

『あはは、まだおわりませんよ〜〜〜し〜〜し〜
〜〜こゆさっなん十回〜も何百回〜も何千回〜も
いかせてあげますが、頑張ってくださいね
〜〜』

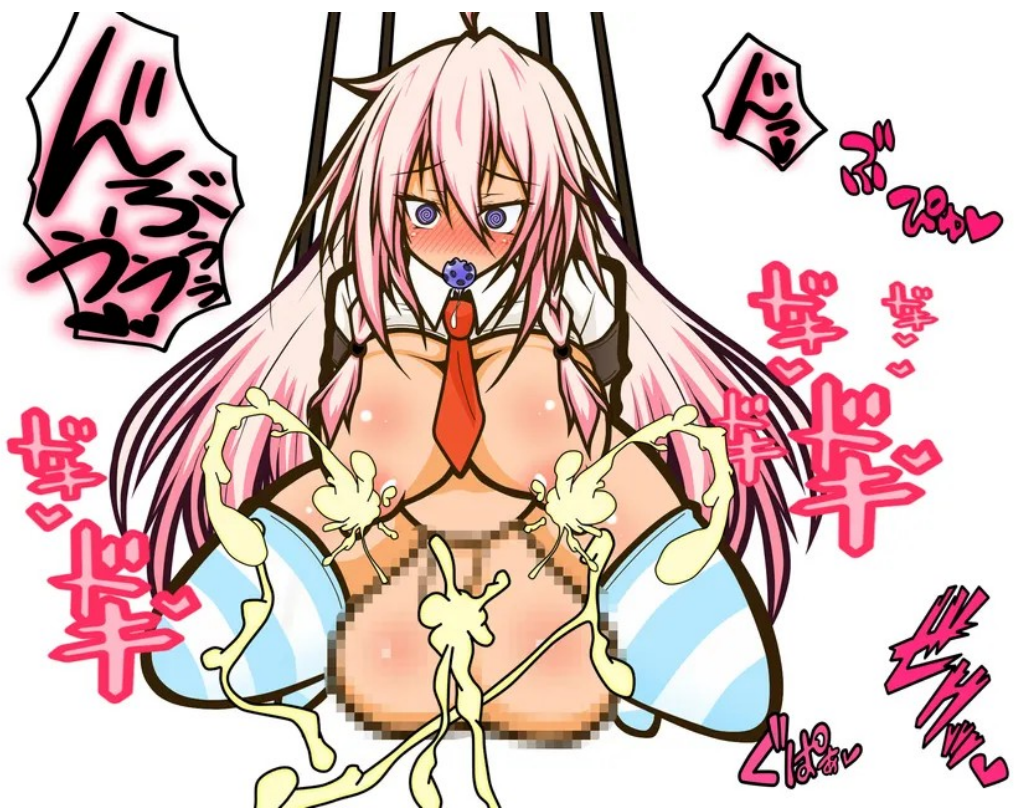


『は〜…♡、おち〇は頑張れ頑張れ〜フレーフ
し〜あす〇あ〜〜』

「にゃほおあ~~~~♡♡♡いんぐうぶ♡♡♡いんぐわい
まんにやいら~~~~♡♡♡おひはおおあおあおあ」

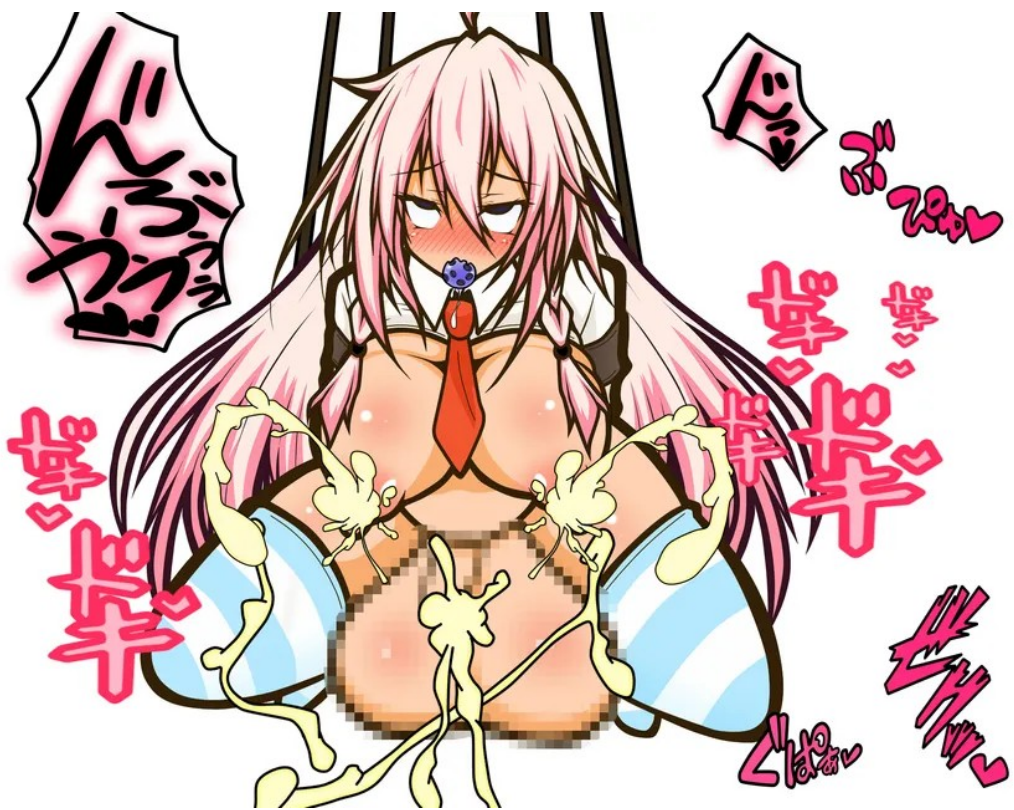


「おわりゆうづう~~~~人間としておわりゆう
うろうろ♡♡ん
ほおおおおおおおおおおおおおおおおおお」



おっぱいキ○タマ化改造
メスキ○タマ巨大化
おち○ぽミルウだしっばなし
アナルバイブ+媚薬浣腸

(狂う……♥♥♥きもちよくて、狂うううう♥♥♥
んおおおおあ)
(もう、エロゲしにやいかりやあ、同人誌もよ
まにやい……だかりやたすけ……)
(んおおおおあ……)



(いやああ、こんな姿みないで……みない
でえええ♥♥♥おっぱいもあま○こも、あち○
ほも全部きもちよくなりゅう)